

農業高校生を応援！『和牛甲子園』情報を「和牛新聞」にて配信

報道各位

日本農業新聞（本社：東京都台東区、代表取締役社長：廣田武敏）は、LINEをプラットフォームにしたデジタルメディア「和牛新聞」にて、第6回『和牛甲子園』（開催：2023年1月19日～20日 主催：全国農業協同組合連合会（JA全農））の情報配信を始めます。



（和牛甲子園公式ウェブサイト：<https://wagyukoushien.com/>）

全国には農業高校は300余りあり、その中でも畜産学科が設置されている学校を中心に、授業やクラブ活動の一環として高校生の手によって和牛が飼育されています。

そのような中、全国の高校生（高校牛児）と彼らが育てた和牛が集まり、日ごろの和牛飼育の取り組みを発表し、その成果としての枝肉の肉質を競い合うのが、『和牛甲子園』です。

「和牛新聞」では、『和牛甲子園』に参加する全40校のプレゼン動画を掲載するほか、審査結果の速報、ライブ動画も配信します。また、本日（1月6日（金））から、1月31日（火）まで、第6回『和牛甲子園』に関する日本農業新聞の全ての記事コンテンツを公開します。2月1日以降も引き続き全てのコンテンツを閲覧するためには、日本農業新聞電子版の契約が必要です。

LINEユーザーは誰でも無料で和牛新聞を利用できます。スマートフォンのカメラを起動し、下記の2次元コード（QRコード）から友だち登録の上、ご利用ください。

日本農業新聞では、こうした情報発信の取り組みを通じて、和牛生産の未来を担う若者たちの活動を、積極的に支援していきます。

和牛新聞（URL：<https://lin.ee/bHy2VYk>）への登録はこちらから（2次元コード）。



◆お問い合わせ 株式会社日本農業新聞 デジタルイノベーション室

メール：dinv@agrinews.co.jp

◆日本農業新聞について

日本農業新聞は国内唯一の日刊農業専門紙です。1928年に創刊した「市況通報」を前身とし、90年以上にわたって農業の専門情報を伝えてきました。販売部数は、農業専門紙として国内最大の30万部。食と農の総合情報メディアとして、多メディア展開を加速します。



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞